

議事録

審議会名	令和5年度 第1回 杉戸町文化財審議会
開催日時	令和5年6月24日(土) 午前10時00分～12時00分
開催場所	杉戸町役場 本庁舎3階 第三会議室
会議の議題	1 議事 ① 令和4年度杉戸町文化財事業実績について ② 令和5年度杉戸町文化財事業計画について ③ 目沼地区発見の盾持人埴輪の町指定文化財について(諮問)
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 (公開の場合傍聴者数 1人)
	(非公開の場合理由)
出席者氏名	長堀榮副会長、寺田竹雄委員、青木秀雄委員、田原昇委員、中村友一委員、三原康之委員、野口憲治委員、新井浩文委員

審議の概要

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 教育長あいさつ
4. 自己紹介
5. 会長及び副会長の選任について
6. 議事
  - ① 令和4年度杉戸町文化財事業実績について
    - (1) 発掘調査活動事業
      - i 発掘調査活動事業(確認調査22件、試掘調査2件、整理作業1件)
    - (2) 文化財保護活動事業
      - i 刊行物
        - ・杉戸町文化財パンフレット(Sugito GRAPHICA)刊行
      - ii 講義・講演会
        - ・まなびっちゃんすぎと(杉戸町立泉小学校6年生児童、杉戸小学校4年生各1～3組を対象に実施)
        - ・令和4年度杉戸町文化財歴史講演会(すぎと町民大学・公民館講座共催事業)  
米沢女子短期大学教授 原淳一郎氏 「江戸時代の旅」(町民大学受講生・応募者を

対象に杉戸町立西公民館にて実施)

- ・令和4年度すぎと町民大学公開講座  
高崎経済大学名誉教授 和泉清司氏 「伊奈忠次とその事績」(町民大学受講生・応募者を対象に杉戸町役場第一庁舎3階会議室にて実施)

iii 文化財等整備補助

- ・大島有隣遺跡(恭儉舎保存会)
- ・大塚神楽(大塚同志会)
- ・茨島はやし(茨島囃子保存会)
- ・復元古代住居(古代住居保存会)

iv 文化財説明板の修繕1か所

- ・杉山対軒遭難の碑(杉戸町大字椿1814)

V 指定文化財整備

- ・日光御成街道一里塚(除草作業)
- ・目沼浅間塚古墳(除草作業)
- ・下野の森(中川低地の河畔砂丘群)(竹の伐採と粉碎・除草作業)

(3) 文化財庶務

- ・埼玉県文化財保護協会活動
- ・東部地区文化財担当者会活動
- ・埼玉県地域史料保存活用連絡協議会活動

② 令和5年度杉戸町文化財事業計画について

(1) 発掘調査活動事業

i 埋蔵文化財に関する事

- ・開発行為に対する調整(通年)、照会は1日3~4件のペース
- ・発掘調査(本年度は既に確認調査を7件、試掘調査1件、本調査1件)を実施

(2) 文化財保護活動事業

i 町内指定文化財の保存管理

- ・日光御成道街道一里塚・目沼浅間塚古墳・下野の森の除草作業
- ・文化財環境整備費補助金、助成金の交付(大島有隣遺跡、大塚神楽・茨島はやし他)

ii 普及・啓発事業

- ・文化財歴史講演会
- ・各学校への出前講座(本年度は、展示リニューアルしたエコスポいずみ展示室・目沼浅間塚古墳にて泉小学校を対象に実施)

- ・すぎと町民大学への出前講座等、他担当との連携
- ・杉戸町文化財パンフレット（Sugito GRAPHICA）2号刊行
- ・杉戸今昔往来伝（町広報巻末連載）の合本を刊行

（3）文化財庶務

i 文化財庶務

- ・埼玉県文化財保護協会活動
- ・東部地区文化財担当者会活動
- ・埼玉県地域史料保存活用連絡協議会活動

※①令和4年度杉戸町文化財事業実績、②令和5年度杉戸町文化財事業計画の報告が終了し、質疑応答に移る

（委員）

報告から色々な事業、特に文化財関係の講演会・講義を熱心に行われていることが分かった。令和4年度はコロナ禍の下での運営となったと思われるが、影響はどのくらいあるか。

（事務局）

去年度はコロナ禍の影響もあり、各種イベントを運営する事務局としても歯痒いものがあった。会場の人数制限などを設け、講演会を小規模にする等して対応した。

（委員）

コロナ禍のイベント運営はどこの機関でも苦労しており、例えば私の勤務先でも、人数制限や、一日のコースを半日のコースに変更するなど、工夫して実施した。杉戸町も注意しつつイベントを実施したのは素晴らしいと思う。今年度からは、感染拡大に配慮しつつも、募集枠を少しずつ拡大していただきたい。

（事務局）

有名な先生を招いているので30人の参加者ではもったいないと事務局でも考えていた。ご指摘の通り、なるべく拡大したいと思う。

（委員）

配布資料では整理作業1件とあるが、現在、発掘調査報告書を作成しているか、またどのような方法であるか。

（事務局）

確認調査の現場ごとに発掘調査報告書を作成している。現場での測量成果は、CAD等の製図ソフトウェアを用い作図を行っている。実際の作業は、発掘調査員（会計年度任用職員）が行っており、都度細かい指示を出すことで質の向上を図っている。また、遺物の洗浄・注記などは任せているが、実測等の作業、最終的な編集は学芸員（職員）が実施している。発掘調査員は会計年度職員のため一日5時間、週三日勤務ということもあり、経験を積む機会が限定されてしまう、報告書の作成をある程度任せるにはまだ時間を要するだろう。また、突発的に大きな本調査が発生した場合、野外調査を含めて現体制で報告書を作成す

るのは困難である。

(委員)

整理作業特に報告書作成はどの自治体でも苦勞し、様々な工夫が見られる。大変だと思うが頑張ってほしい。

(委員)

令和4年度の埋蔵文化財の調査は添付資料を見ると確認調査で終了している調査が多く、大きな発掘調査には発展したものはない。実際に大きな本調査が発生した場合にはどのように対応する予定か。また大規模な現場が発生した場合、出勤時間の限られる会計年度任用職員がメインの今の体制では対応するのは難しいか。

(事務局)

現在、確認調査を実施するにあたり、事前に測量調査を実施している。その際、周辺の発掘調査の状況と現地踏査の結果から、本調査に至る可能性が高いと判断した場合、業者に対して2～3週間程度の本調査の日程を提案している。また、本調査になった場合だが、令和4年度であれば勤務シフトを調整し対応した。ご指摘のとおり、やはり現状では大規模な調査は難しい。今後は、シルバー人材センターの活用や、民間の発掘支援業者への一部委託なども想定し現場経営に臨みたい。

(委員)

民間の発掘業者を入れている他自治体の話も良く聞く。複数の自治体で同時期に発掘調査が発生した場合、人材確保は難しそうだ。

(事務局)

ご指摘のとおり、人材確保は大きな課題だと思う。杉戸町は予算規模も小さく、民間業者への委託は、手段を都度考えて対応する必要があるだろう。

(委員)

文化財保護活動事業の一つで、文化財説明板の修繕・設置の数が、令和3年度の合計5件から令和4年度は1件へと減っている。議事においては予算の関係と説明があったが、今後の方針はあるか。

(事務局)

説明板の修理は、説明板そのものの建替えはせず、説明板用シールの貼り替えで対応していた。周辺市町に比べて安価に済ませていたが、昨年度から続く原材料の価格高騰のため、一カ所のみ修理にとどまった。安価な業者を探す、自前でのシール作成を試みるなど、様々な方法を模索している。

(委員)

様々な方法を考慮して、早めに対応してほしい。

(事務局)

かつての説明板に比べたら、作成費用は安価になり・耐久年数も伸びている。物価高騰さえなければかなり状況は改善していただけに惜しいが、今後もより良い作成方法を模索していきたい。

(委員)

説明版のマップのようなものはあるか。

(事務局)

事務局でマップを作成しているが、あったはずのものが消えている場合もある。人員の都合上悉皆調査はできないが、時折所在の確認はしている。今後も継続したい。

(委員)

文化財説明板、説明板・文化財マップは、多くの人に親しみやすく、文化財活用の基礎になりえる。今後更に力を入れられれば素晴らしいと思う。

(委員)

東京都内の説明版には、スポンサー制度を採り入れ、予算の問題をクリアしているところもある。町予算が少ない今の状況には良い方法と思われる。

(事務局)

スポンサー制度の採用、宮代町のようなクラウドファンディング等、今様々な方法で予算の問題に対処している例があるので、参考にしたい。また劣化が著しい看板があれば自作を試みて対応するなどしたい。

(委員)

勤務先の大学に、大判のシールプリントが可能なプリンターがある。もし自作する場合は協力できるかもしれない。

(事務局)

データはいつも事務局で作成しているので、印刷がお願いできるなら依頼させていただきたい。

(委員)

予算の都合でしっかりした説明板を作成するのが難しいときは、QR コードで説明の pdf にアクセスできるような仕組みがあるだけでも、利用者の満足度を高めることができる。実際杉戸町と同じく予算に窮した自治体では取り入れている所も多く、参考にできるのではないか。

(事務局)

もともと説明板は紙面も限られるため、QR コードの併用で情報量を増やせるのは素晴らしいと思う、是非とも検討したい。

### ③ 議題

「目沼地区発見の盾持人埴輪の町指定文化財について（諮問）」

※実際の盾持人埴輪を展示・更に 3D データを投影し「目沼地区発見の盾持人埴輪の町文化財指定について」の諮問について、審議委員に意見を求める。

(事務局)

現在、観察表及び 3D データの作成が終了した、これをベースにして実測図を作成している途中である。図化できた段階で委員に配布したい。3D データには様々な活用方法考えられるが、今後はこれを町 HP に公開する案もある。

(議長)

こちらの3Dデータに関して何か質問はあるか、なければ議事を終了する。

7. その他

事務局から欠席者の報告、講演会の案内など諸連絡あり。


8. 閉会

以上をもって全ての議事を終了したので、会長より閉会を宣言し解散した。  
上記の議決を確認するために、議事録署名人は、署名、捺印する。

令和5年8月15日

令和5年度第一回杉戸町文化財保護審議会

議事録署名人

田原昇 

議事録署名人

中村友一 